

当消防組合は、平成21年度に災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車を財団法人空港環境整備協会からの助成を受け更新しています。

なお、主な車両性能については、震災時や水害時等の悪路を走破するために四輪駆動方式としたことです。さらに、水槽容量2,000ℓの消火水に加えCAFS（圧縮空気泡消火システム）を搭載することで、消火水が確保困難な地域においても高い消火効率を上げることができます。

災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（筑紫野消防署配置）

